

始良地区歯科医師会主催 医療管理研修会 (2024.11.12) 抄録

「安心で安全な歯科医療に向けて-院長先生にお勧めしたい院内救急体制

-in 始良 Part 8」

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 歯科麻酔全身管理学

杉村 光隆

毎年機会を与えていただく本講演もPart8となり、心より感謝を申し上げます。

世を席卷したコロナ禍は夏場に一時期ピークを示しましたが、目下、鹿児島県では落ち着いており、今は手足口病やインフルエンザの流行が注目されているようです。ウィズコロナの時代に入り、ニューノーマルへの対応も世間ではかなり個人差が散見されますが、医療従事者としては、震災対策と同様、手指衛生、マスク装着・咳エチケット、3密回避、換気など、パンデミックへの備えと合わせて、ごく自然の構えでありたいものです。

さて、今回の講演では、時間的制約がございますので、感染対策や医療安全については、概ね資料でご参照いただき、例年、駆け足になりがちな「院内救急体制のあり方」について、日本歯科医学会のプロジェクト研究で、日本歯科麻酔学会が行ったアンケート調査を踏まえ、皆様と考えてみたいと思います。歯科の現場に必要な救急薬剤の使い方はもとより、その適切な使用のためにはバイタルサインの評価がとても大切ですので、モニタリングについて、日常臨床で一番遭遇する頻度が高い高血圧症例への対応についてご紹介します。しばしお耳を拝借いたします。

釈迦に説法のような講演内容で誠に恐縮ですが、月並みであるが故にごく普通の感覚、スタンスでニューノーマルを堅固にしておくことが、超高齢社会ならびに福祉社会への備えになります。限られた時間でいつも駆け足になりますが、今一度、安心・安全で快適な歯科医療に向けての思い・考え方を再認識する機会としていただけましたら幸いです。